吉田川流域地区

【事業により目指すもの】

- **湛水被害解消**。1/30確率降雨時に、30cm以上の田面水深を24時間以内に低下。（宅地湛水被害も軽減）
- 遊水地指定範囲の農地においても、3日以内排水を目指す。（確率降雨は調査中）
- 加えて、ほ場整備要望や**高収益作物や畑作物導入も視野**に、1/10年の確率降雨時に５cm以上湛水させないことにも留意。範囲を精査し、地域営農計画を検討。
- **流域治水対策の全国モデル**として、関係機関との緊密な連携の在り方、先進的な取り組みを実現。

【事業構想（R5.1調査中）】

- 現在、個別に運用している各排水機場を、排水能力をアップさせつつ、流域全体の効率的な排水を可能とする、排水機場群としての排水方法を導入（**排水機場群の一元管理**）
- 課題解消、かつ管理負担軽減に向けた排水系統の再編整理

【ハード】

・ポンプ設備の能力向上。一体的に改修

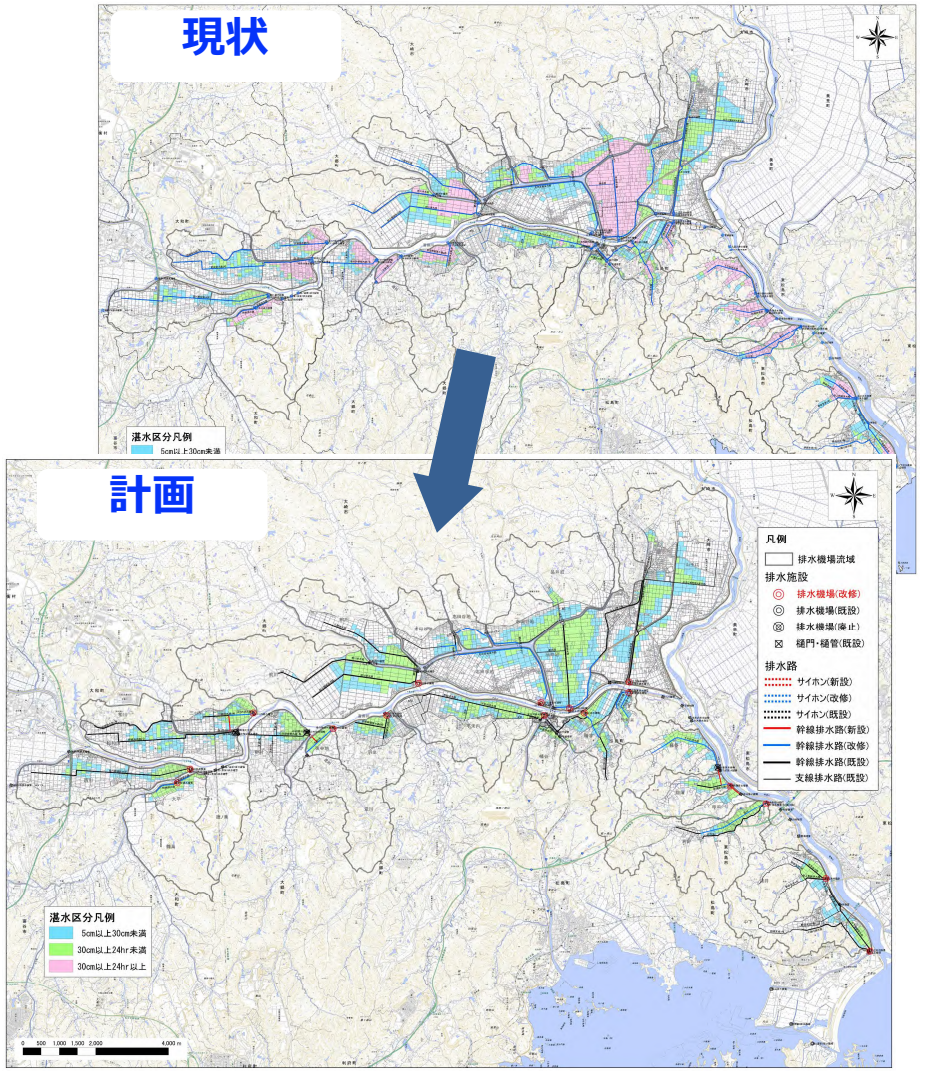
・排水系統や地形等を考慮のうえ、隣接機場の統廃合も検討（管理の集中・簡素化、負担の軽減）

・一元的に管理する中央管理施設及び排水システムを設置

【ソフト】

・群としての統合管理の運転操作要領（ルール）を整える

（効果的な内水排除とともに、**統合管理だからこその治水安全度を向上させる運用**）

・管理体制も関係土地改良区と調整

- 排水管理上の各種データは、流域の関係機関と共有
- 「先進的な取り組み」となるよう、関係機関と協議し、進めていく⇒**吉田川の流域治水**